

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2023年度以降）

開講科目名 / Course	大阪南部の地域防災 / Regional Disaster Prevention in southern Osaka Prefecture				
時間割コード / Course Code	R1001106_G1				
開講所属 / Course Offered by	共通 /				
ターム・学期 / Term・Semester	2023年度 / Academic Year 第3クォーター / 3Q				
曜限 / Day, Period	他 / Otr				
開講区分 / Semester offered	後期 / the latter term				
単位数 / Credits	2.0				
学年 / Year	1,2,3,4				
主担当教員 / Main Instructor	此松 昌彦 / Konomatsu Masahiko				
授業形態 / Lecture Form	講義・演習				
教室 / Classroom					
開講形態 / Course Format					
ディプロマポリシー情報 / Diploma Policy	要件所属 / Course Name 共通	ディプロマポリシー / Diploma Policy 幅広い教養と分野横断的な学力	DP値 / DP Point 3		
		課題解決力と自己学修能力	3		
		協働性とコミュニケーション能力	1		
		地域への関心と国際的視点	3		
担当教員名 / Instructor ( 担当教員所属名 / Affiliation )		此松 昌彦 / Konomatsu Masahiko ( 教育学部 ( 教員 ) ) 、吉野 孝 ( システム工学部 ( 教員 ) ) 、 田内 裕人 ( システム工学部 ( 教員 ) )			
授業の概要・ねらい / Course Aims	大阪南部において中央構造線系や上町断層に内陸地震と南海トラフ地震の海溝型地震が心配されている。また風水害の増加が増えていることから、災害のリスクは高まっている。私たちはそれらの災害から命を守り、周りの大好きな人たちを助けることも重要なテーマになる。そこでこの講義では私たちが災害に対して、どのような備えをしていけば良いのかを自分で考えて、災害時の多様な課題について判断できるようになる。				
到達目標 / Course Objectives	私たちは地震や風水害などの災害時にどのようなことが発生するのかを理解し、自分の命を助け、周りの人たちを救助したりすることができる。さらに避難所での発生するであろう課題を理解して、避難所でのボランティアなど支援することができるようになる。				
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	6回の単元ごとに課題に対する理解度、自己分析を課題としてレポートを提出する。各回100点満点のを6回分を平均化した点数を成績とする。				
教科書 / Textbook	その都度、資料を配布します。				
参考書・参考文献 / Reference Book	記載事項なし				
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	開講場所は岸和田サテライトです。まち歩きを行う回があります（2回、3回）ので、歩きやすい服装で来てください。3回の吉野先生の回では、ノートパソコンを持ってきてください。				
履修する上で必要な事項 / Prerequisite	岸和田サテライトへ毎回来ていただき対面で受講してもらいます。				
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	教養科目「災害科学」「自然災害と防災・減災」				
授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours	大阪南部のハザードマップなどを読んだり、地域防災について調べたりしておいて下さい。本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。授業時間の約2倍の時間外学修が必要です。				
その他連絡事項 / Other messages	記載事項なし				
授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes	市内の街歩きして危険な箇所を探したり、課題をグループ学習で議論して発表してもらうことがある。 アクティブラーニング実施要項				
オフィスアワー / Office Hours	後期 金曜3限 此松研究室（東3号館 北-417） 他学生との重複、出張等で不在の場合がありますので、事前メール予約推奨。 matsu@wakayama-u.ac.jp				
科目ナンバリング / Course Numbering	C25032J1011131h1				

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) / Time (date and time)	主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	学習方法と内容 / Methods and contents	備考 / Notes
1回(12月9日(土) 13:00~17:00)	大阪南部に想定される災害とは(此松)	ガイダンス・大阪南部での想定される地震や風水害(ハザードマップを利用)についてイメージしてもらい、危険予知の重要性について理解する。	ゲスト:岸和田市危機管理課職員
2回(12月16日(土) 13:00~17:00)	津波から逃げ切れ! ~数値シミュレーションと避難実地訓練の融合~(田内)	大阪南部の断層の説明 数値シミュレーションを使った避難実地訓練を行いながら、避難行動の課題を知る。	まち歩きをします。ゲスト:同市危機管理課職員
3回(12月23日(土) 13:00~17:00)	災害時の避難をアプリでシミュレーションする(吉野)	発災時の避難ルートについて説明しながら街を歩き、危険な場所を知る。	PC持参してください。まち歩きをします。ゲスト:同市危機管理課職員
4回(1月20日(土) 13:00~17:00)	災害時の情報収集について被災後の情報共有について - ローカルな情報をローカル(此松:GS 佐藤周氏)	発災後1~2か月後の電気がない状況を想定して、情報の収集と発信をテーマに扱う。ラジオ岸和田の方をゲストに迎える。ゲストの方には、岸和田市との災害時の連携協定や、発災時のラジオ局の対応など、話していただく。信頼のおける情報を集めること、発信することについて、グループで話し合いながら検討していく。最後に話し合ったものを共有する。	ゲスト:ラジオきしわだ理事長・梶野 昭太郎氏
5回(1月27日(土) 13:00~17:00)	避難後の心のケアを考える(此松・岩谷 (非常勤)ゲスト NPO団体職員)	発災後には普段とは違う非日常である避難所生活や仮設住宅での生活を強いられる。その時に現れる心の問題を知り、どのようなケアを行う必要があるのかを知る。	ゲスト:一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ からころステーション 渋谷浩太氏 地域活動支援センター櫻(職員)
6回(2月10日(土) 13:00~17:00)	今までのことから地域防災を考える(此松)	これから防災について考えるために、これまでの回での課題をみんなで出し合い、地域防災についての活動についてみ	ゲスト:岸和田市危機管理課職員